

二宮 淳議員



録画配信中



一問一答方式

- ①フツ化物洗口事業
- ②介護保険料等
- ③電子図書館
- ④新型コロナウイルス感染症対策
- ⑤死去後の手続一元化

フツ化物洗口事業について

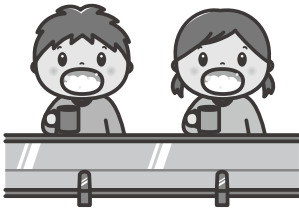
問 虫歯予防に効果があるとされる「フツ化物洗口」は、県内では

平成30年で小学校50%、中学校14.9%となっているが、市内の小中学校の状況と、今後、保護者への説明及び安全性の確保を十分配慮しながら虫歯予防対策の一つとして取り組む考えはないか。

答 令和3年2月に国が実施した実態調査では、本市の小学校12校中5校、中学校8校中1校が「フツ化物洗口」に取り組み、実施率は小学校では41.7%、中学校では12.5%で、県平均よりもやや低い状況です。また、小学校から中学校へ継続して実施している学校も少ない現状です。

現在、新型コロナウイルス感染症により、取り組んでいる小学校では一時的に中断していますが、どの小学校でもこれまでの効果が持続できるように、学校の実態に合った感染予防対策を取りながら再開したいと考えています。

市教育委員会では、「フツ化物洗口」の実施は各学校に任せていますが効果は十分承知していますので、今後は、児童・生徒の健康維持のため「フツ化物洗口」を推奨したいと考えています。



介護保険料等について

問 新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等、通所系サービスなどで特に気をつけていることはあるか。

また、事業所内でワクチン接種を実施する場合、介護報酬等の取扱い等はどうなるか。

答 人員基準は、感染症の患者等への対応により、一時的に基準を満たすことができなくなった場合でも介護報酬の減算を行わないなど柔軟な取扱いが可能です。

通所系サービス事業所で留意していることは、送迎時の検温や体調の確認、職員には不要不急の外出や家族以外との会食を避けるなど、徹底した感染対策を講じ、クラスター発生防止に努めています。

通所系サービス事業所内でワクチン接種を実施する際、居宅サービス計画に位置づけられた提供時間内で介護報酬を算定することは可能ですが、本市では通所系サービス事業所内でのワクチン接種は実施していません。

死去後の手続一元化について

問 大切な家族を亡くした遺族にとって、死亡時の手続は書類に何度も同じ内容の記入が必要ななど大変な苦勞を要している。

大分県別府市や兵庫県三田市では手続の一元化を図っているが、死亡に伴う手続の簡素化に取り組むべきではないか。

答 死亡後に必要な手続は、死亡届を出された際にご遺族の方に手続に必要なものをまとめた一覧表をお渡しするとともに、各課の担当職員が順次窓口へ案内するなど、できる限りご遺族に寄り添った対応を心がけています。

また、昨年度はより円滑に手続が行えるよう、関係各課が連携し一覧表の内容を改善しました。

お悔やみコーナーの設置などワンストップサービスの提供は、家族関係の希薄化や多死社会の中で、ご遺族の負担軽減の観点から取り組んでいく必要があります。

そのためには、設置場所や人員の確保、システム改修など課題もあるため、先進事例の取組状況を参考にDX推進に併せて検討を進めたいと考えています。